

MRI 検査をうけられるかたへ

MRI（磁気共鳴画像）とは、磁気と電波を利用して断面画像を得る撮影です。撮影の時は、トンネルの中に入って、大きな音のなかで検査をします。（大きな音については、ヘッドホン等を用い軽減することが可能です。）MRIを安全に実施するために、以下のご説明をお読みください。

1)．検査を受けることができないかた

- ①心臓ペースメーカーを埋め込まれているかた
- ②金属製の心臓人工弁をご使用されているかた
- ③人工内耳をご使用されているかた
- ④神経刺激装置（深部脳刺激装置）をご使用されているかた
- ⑤冠状動脈等に磁性体のステント挿入後2ヶ月未満のかた

2)．検査を受けられないことがあるため、担当医師に申し出てください

- ①妊娠中もしくは妊娠の可能性のあるかた

胎児に対するMRI検査の安全性は確立されておりません。原則、妊娠中の方は検査をお受けになることはできません。（特に妊娠期間の最初1/3の検査は慎重になる必要があります。）

- ②脳動脈瘤手術による金属クリップやコイル等、その他金属が体内にあるかた

MRI対応の製品かをご確認ください。MRI非対応の場合、わからない場合は検査をお受けになることができません。

- ③閉所恐怖症のかた：担当医に申し出てください。

- ④入れ墨、アイライン、マスカラ：

入れ墨では、火傷や絵が崩れる可能性があります。担当医に申し出てください。アイライン、マスカラ等は、火傷を発症する事例があるため、検査前に落としていただく場合があります。

3) その他の注意

検査室内には、補聴器、装飾品、腕時計、磁気カード、電子機器類を持ち込むと故障、データが消失します。入れ歯、使い捨てカイロ、エレキバン、ベルト、湿布等は、火傷や画像のみだれを引き起こす可能性がありますので取り外していただきます。

※検査をできるだけ安全確実に行うために、別紙の「CT・MRI検査依頼書」にお答えください。

造影の場合は、診察時に同意書を印刷しますので、ご署名ねがいます。

CT 検査をうけられるかたへ

- ・妊娠中、または妊娠をしている可能性のあるかたは、検査をお受けできません。（ただし担当医が放射線被曝のリスクを考慮した上で、必要と認めた場合は除きます。）
- ・服用中のお薬は、医師の指示が無い限り、通常通り服用してください。

MRI・CT 検査前の食事制限について

- ・腹部検査、造影検査のかたは検査前の食事はお控えください。（検査が午前の方は朝食を、検査が午後の方は、昼食をとらずにおいでください。）
- ・水、お茶は制限していませんので、取って戴いて結構です。